



2017年5月8日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 樋口 達夫
 (コード番号: 4578 東証一部)
 問合せ先 IR部長 小暮 雄二
 (TEL 03-6361-7411)

大塚製薬工場、インド合弁子会社・大塚製薬インドの持分追加取得に関する契約を締結

当社の100%子会社である株式会社大塚製薬工場が、60%の持分を保有するインドの合弁子会社 Otsuka Pharmaceutical India Private Limited について、クラリス・ライフサイエンシズ社が保有する全株式(20%)を取得することに合意し、クラリス社との間で株式譲渡契約を締結しましたので、以下の通りお知らせします。

なお、当社2017年度の連結業績予想に変更はありません。

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一、以下「大塚製薬工場」)は、この度、大塚製薬工場が60%の持分を保有するインドの合弁子会社 Otsuka Pharmaceutical India Private Limited[※](以下「大塚製薬インド」)について、クラリス・ライフサイエンシズ社(以下「クラリス社」)が保有する全株式(20%)を取得することに合意し、クラリス社との間で株式譲渡契約を締結しました。株式取得後の大塚製薬インドの出資比率は、大塚製薬工場80%、三井物産株式会社20%となります。なお、株式の譲渡は、インドの外国投資促進委員会(Foreign Investment Promotion Board)の承認など一定の条件を充足した後に完了します。

大塚製薬工場は、2013年7月31日、クラリス社と三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:安永竜夫、以下「三井物産」)の3社でインドに合弁会社を設立し、クラリス社から譲渡を受けた事業を基盤として輸液事業を展開してきました。

今回の契約により大塚製薬インドの出資比率を引き上げることで、大塚製薬工場は、日本で培ってきた高品質な基礎輸液及び栄養輸液関連技術を最大限に生かし、経済発展が著しく、医療の高度化が期待できるインドで輸液事業をさらに強化し展開することができると期待しています。

今後、大塚製薬工場はパートナーである三井物産と共に、「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」という大塚グループの企業理念のもと、インドの人々の健康に貢献してまいります。

※2017年3月1日付けで、社名を Claris Otsuka Private Limited から Otsuka Pharmaceutical India Private Limited に変更しました。

会社概要

大塚製薬インド (Otsuka Pharmaceutical India Private Limited[※]) ※旧社名：Claris Otsuka Private Limited

設立 : 2013年7月31日
資本金 : 105億2,400万インドルピー (約179億円)
(株式取得前) 大塚製薬工場：60%、クラリス社：20%、三井物産：20%
(株式取得後) 大塚製薬工場：80%、三井物産：20%
代表者 : CEO 高木 修一 (たかぎ しゅういち)
本社所在地 : インド・グジャラート州アーメダバード市
従業員数 : 1,059名 (2016年12月31日現在)
事業内容 : 基礎輸液・臨床栄養製品の製造販売
展開地域 : インドおよび世界50カ国以上
U R L : <http://www.otsukapharma.in/>

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設立 : 1969年10月7日
資本金 : 8,000万円
代表者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従業員数 : 2,309名 (2016年12月31日現在)
事業内容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造・販売および輸出入
U R L : <http://www.otsukakj.jp/>

以上